

保育所における自己評価

A	大変よくできている	85%以上
B	良い	65%以上
C	検討が必要	50%
D	改善を要する	25%

保育所保育指針で「保育所は保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、園の保育内容について評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。よっておひさま保育園では、これに基づき自己評価について公表いたします。

評価日： 令和6年3月26日 対象者： 保育士等30名

評価項目	結果	取り組み状況
保育理念・保育方針 ・保育目標の理解	B	① 保育理念・園の方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している。
保育	A	① 子ども・保護者・職員で笑顔で挨拶をしている
		② 子どもの発達に合わせたり、意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができている。
		③ 子どもや保護者の対応にばらつきはないか。
		④ 園で起きた事故・ケガに対して、誠意を持って対応している。
		⑤ 気候や子どもの活動に合わせ、温度・室温・換気・照度などに配慮している。
		⑥ それぞれの子どもに関する情報を職員間で共有している。
		⑦ 保育士自信が役割を把握し、楽しんで保育をしている。
健康管理	B	① 日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体調に合わせた保育を心がけている。
		② 保育室の感染症対策を毎日行い、玩具・遊具については、常に衛生的に保持している。
		③ 乳幼児突然死（SIDS）や感染症等の予防対策やマニュアルを読んでいる。
行事	A	① 行事の計画・実践・評価・改善（PDCAのサイクル）ができている。
		② 行事を自らが楽しんでいる
食育	B	① 食育を通して子どもたちが楽しく食事をし、食べる意欲が育つように工夫している。
		② 旬の物や季節感のある食材を提供し、食文化を伝えるよう工夫している。
		③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている。
運営	B	① 園長・副園長・主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制にある。
		② 各種会議を適切かつ効率的に進めている。
		③ 打ち合わせ回数、時間、内容は適切である。

保健・安全指導	B	① 園内外の設備の安全点検を計画的に行っている。
		② 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実践し、指導している。
		③ 事故災害に対応できるマニュアルをすぐ見るができるようにしている。
		④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えることを意識している。
		⑤ 室内の衛生、クラス回りの清掃に心がけ、気持ち良い環境を心がけている。
研修	A	① 園内・園外の積極的に研修に参加し、日常の保育に活かしている
		② 園内の研修報告会や勉強会には意欲的に参加したい。
情報	B	① 園児の個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理・保管している。
		② 園内で知り得た事柄については守秘義務を徹底している。
		③ 事務作業については、適切な時間・方法で作成・処理している。
保護者支援	B	① 送迎時に子どもの様子を伝え、家庭との連携を図っている。
		② 入園説明会や面談等で保育内容や目的を分かりやすく説明し、情報共有を行っている。
		③ 必要に応じて個人面談を行っている。
子どもを尊重する 保育	A	① 子ども一人ひとりの人格を尊重するかかわりをしている。
		② 物事を強要するようなかかわり、脅迫的な言葉がけをしていない。
		③ 罰を与える・乱暴なかかわりをしていない。
		④ 一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮するかかわりをしている。
		⑤ 差別的なかかわりをしていない。

次年度へ向けての取り組み

- ・子どもの病気・怪我・感染症等の共通理解の努力は見られるが、常に確認し的確な対応が求められる。
- ・行事において少しずつ意欲的に取り組めるようになってきた。前年度の反省点を踏まえ、より良いものに繋がっている。研修等の参加や勉強会を取り入れ、さらに全体で楽しめるような内容を考えていきたい。
- ・食育について、担当が中心となり活動を進めていくことが出来た。引き続き状況を見極め何が必要か、改めて考え、色々な取り組みを始めていきたい。
- ・避難訓練等を通じて、意識や理解を高めているが、様々な自然災害等に的確に対応できる様、職員全体でさらに意識を高める必要がある。初めて保護者参加型の引き渡し訓練を行った。反省点を次に活かしていきたい。

総評

全体的には「大変よくできている・良い」の評価がほとんどであった。自己評価を行う事で、職員自身が保育の見直し、園全体で保育や運営について改めて考えるきっかけとなった。中には、「一人ひとりの考えの違いでクラス運営が難しかったこともあった。」との評価もあり、話し合いの時間（ミーティング）を設けることで気持ちの共有や相談しやすい環境づくりをしていきたい。責任事項や職務分掌業務にばらつきがあったが、会議などで呼びかけ、業務内容を明確にすることで、少しずつ自ら考え、行動し、責任を持って業務に取り組めるようになり、一人ひとりの意識が高まってきていると感じている。